令和5年度 施策事前評価シート

施策責任者所属	健康増進課	電話番号	直通	989-5575	
基本目標	いきいきとした暮らしを支える　優しいながいずみ				
政策	健康で幸福を実感できるまちの実現	施策分野	健康づくり		
施策分野の総事業費	前年度決算額	920,599　千円	今年度予算額	626,850　千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	単位	進捗評価
1	10分以上連続した健康づくりに週１日以上取り組んでいる町民の割合	目標値		76	77	78	79	80	%	E
		実績値	75.4	68.6	60.2					
2	生活習慣病による死亡率	目標値		70	69	67	66	65	%	A
		実績値	63.1	69.6	56.3					
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								

総合評価	C：進捗が思わしくない

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	地域健康づくり推進（地域元気づくり事業、食育推進事業、まちなか健康交流事業）、健康づくりセンター・健康公園の運営及び管理、健康対策（ピロリ菌検査の実施、禁煙外来治療費の助成）、母子保健事業（母子健康教育事業、母子健康相談事業、母子訪問指導事業の実施）、母子健康診査事業の実施、出産・子育て応援事業の実施、母子予防接種（ヒブ＊・小児肺炎球菌予防接種、麻しん・風しん予防接種、四混＊・三混＊・ＢＣＧ＊等予防接種の実施）
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・働き盛り世代の運動不足について、時間と場所を選ばず運動機会を確保できる仕組みが求められている。 ・食生活の課題が顕著化（食塩の過剰摂取、野菜の摂取不足等の栄養の偏り、食習慣の乱れ等） ・ストレスや過労によるこころの病気が顕著化。こころの健康の重要性についての普及啓発や支援体制づくりを進める必要がある。 ・感染症対策を考慮した健康づくりの必要がある。 ・一次予防として、働き盛り世代といった早期からの健康づくり支援が必要とされるが、多くが「忙しい」といった理由で健康づくりに取り組めていない。 ・地域元気わくわく教室（対象:自治会区）と他課事業で対象が重複している。 ・コロナ禍により外出が少なかったことやリモート勤務が増えたことなどにより、歩行量が減少している現状がある。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・パークゴルフ場の運営並びに健康公園施設の改修を進めるとともに、歩数アプリ参加者のさらなる増加に向けてSNS等を活用した施策を展開するなど、感染症対策を考慮した幅広い世代の日常生活における気軽な健康づくり環境を充実する。 ・妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を図るため、家庭の孤立化や子育てに不安を感じる親等への産後ケアや母子健康相談などの事業を推進する。 ・ウィズコロナに対応した世代毎の健康づくり事業の展開・情報提供を行う（２歳児運動あそび教室：参加されない方向けの運動情報の提供）。 ・地域元気わくわく教室(対象：自治会）については、他課事業と対象(高齢者)重複のため、当課のメインターゲットとする働き盛り世代を中心とした事業所等での実施に着手していく。自治会を対象とした事業は希望制とし、フォローアップ事業は継続。 ・働き盛り世代に対しする各種健康づくり事業として、対事業所へ働きかける。